

(様式1)

ながのまちづくり活動公開審査申込書

申込年月日	平成25年2月1日	受付番号	9
活動部門・コース	1 企画・研究部門	2 実践活動部門	① ホップコース (スタート枠) ② ホップコース ③ ステップコース ④ ジャンプコース
団体の名称	(フリガナ) チームオサルノカゴヤ チーム「おさるのかごや」		
団体の所在地			
代表者	(フリガナ) テラサワ ダイスケ 氏名 寺澤 大亮		
連絡先 (連絡責任者)			
団体の設立年月日	平成24年1月1日		
設立目的	<p>① 松代は“お猿のかごや”をはじめとした数々の童謡発祥地という事。</p> <p>② 2010年に「松代イヤー実行委員会」によって松代のキャラクターができ、一般公募で“六モンキー家族”と名付けられ、お父さんの「エッサ」お母さんの「ホイサ」子ザルの「サッサ」が誕生したという事。</p> <p>③ 「ホイサッサ松代」という先輩団体が10年間町おこしを通して蓄積した資産全部を使い、①で誕生したキャラクター“六モンキー家族”2体のきぐるみと1体のぬいぐるみを作ったという事。</p> <p>④ その団体の高齢化という問題と、「ぬいぐるみに今までの活動予算を使い果してしまったため、次の活動にステップすることができない。」と若輩の私たちに相談を持ちかけられたという事。</p> <p>⑤ キャラクターの使用契約がしっかりと結ばれたという事。</p> <p>先輩たちが一生懸命、町おこしに尽力していたという“歴史”“歩み”を絶やしてはいけないと考え、チーム「おさるのかごや」の設立に至りました。</p> <ul style="list-style-type: none">●キャラクター、童謡を通じた園児や小・中・高学生・団体との情報共有の場発掘の為。●「童謡発祥地松代」をキャラクターと共に全国へ情報発信する為。●松代全体が松代の童謡を自慢できるような町にして行く為。		
活動実績	児童センターアドバイザー・ゆるきゃらイベント出演・地元小学校との童謡イベント等		
構成員(会員)数	15人		
活動のタイトル	「童謡お猿のかごやで町おこし」		

<p>活動の目的及び達成目標</p>	<p>現在の地域や社会の問題・課題、応募する活動の目的</p> <p>① 松代は数々の有名童謡の作詞家・作曲家がいる童謡発祥地ということもあり、これらの歴史財産を通じて様々な交流、発掘、そして広域にわたるPRに繋げて行くことが出来る。</p> <p>② いろいろな所で行われている各地の“ゆるキャライベント”に参加し、「童謡のたくさん生まれた“童謡の町松代”」をWEB媒体等も使い、全国的にPRし、知名度を上げる事。</p> <p>③ 長野の子供たちが長野の童謡なのだど胸を張って歌ってくれるようになる事。</p> <p>④ 地域の童謡を通じて、各種活動団体と、協力の幅を増やして行き、活動の視野を広げる事。</p> <p>今年度の達成目標</p> <p>■着ぐるみの中に入って活動の中核となるスタッフの確保。</p> <p>各地のイベントやPRの際、中核となって活動してくれる人材の発掘。</p> <p>■イベントやPRの内容を随時ホームページで発信。HPスポンサーの募集。</p> <p>■着ぐるみのクリーニング・修繕等の費用を意識し、グッズ等の収益性を高める。</p> <p>■長野市周辺の学校や社会人団体と協力し、童謡の合唱等、イベントの企画・提案。</p>
<p>活動の具体的な内容</p>	<p>① 長野市周辺の学校の訪問【長野市周辺地区学校・施設】 (学校・施設の訪問・協力依頼の継続)</p> <p>保育園・幼稚園・養護施設・小学校・児童センター・中学校・高校・各種活動グループ等へ、活動内容を明確に示し、賛同や協力が得られた時点での合同童謡イベントを引き続き継続する。</p> <p>② 松代町内に限らず、長野市内の児童館への協力依頼に応じて行く。</p> <p>初年度に児童館への訪問依頼を請ける資格を取得しました。(アドバイザー登録)</p> <p>六モンキーを通じて、長野市単位での子供とのふれあい、そして童謡の普及を積極的に継続して行き、地元松代のブランド力を違った角度から高めて行く。</p> <p>③ 初年度に制作したホームページに活動内容の随時更新。 (イベント等の活動内容はすべて発信する。)</p> <p>基本的にホームページは随時更新にて発信する。活動に興味のある方や、今後の活動展開を楽しみにしてくれる方々、活動内容を全く知らない新規開拓の可能性のある方々への情報共有を欠かさない。</p>
<p>年次計画</p>	<p>4月 HP更新・定例会議・エコールド遊学文化祭①・松代春まつりイベント②・長野マラソン応援③</p> <p>5月 HP更新・定例会議・児童館への出張④</p> <p>6月 HP更新・定例会議・童謡歌碑巡り⑤</p> <p>7月 HP更新・定例会議・児童館への出張⑥・祇園祭参加⑦</p> <p>8月 HP更新・定例会議・エコールドわくわく体験クラブ参加⑧</p> <p>9月 HP更新・定例会議・児童館への出張⑨・保育園運動会応援⑩</p> <p>10月 HP更新・定例会議・児童館への出張⑪・真田まつりイベント⑫</p> <p>11月 HP更新・定例会議・児童館への出張⑬・保育園運動会⑭</p> <p>12月 HP更新・定例会議・児童館への出張⑮・保育園お楽しみ会⑯</p> <p>1月 HP更新・定例会議・児童館への出張⑰</p> <p>2月 HP更新・定例会議・児童館への出張⑱</p> <p>3月 HP更新・年次報告の作成・次年度の準備</p>

予 算 書

必要経費

(単位 円)

科 目	金 額	内 訳
謝金・賃金	108,000	
消耗品費	3,000	
備品購入費	40,000	
広告宣伝費	138,000	
印刷製本費	120,000	
修繕費	140,000	
合 計	^A 549,000 円	

自己資金

名 目	金 額	
会費	75,000	
寄附金・協賛金	30,000	
参加者負担金	0	
事業収益金	140,000	
合 計	^B 245,000 円	

補 助 金 要 望 額 A-B	
【企画研究部門】 Aの金額以下、ただし10万円以内 【実践活動部門ステップ枠】 A×0.6の金額以下、ただし60万円以内 (スタート枠は50万円以内)	304,000 円 (千円未満切り捨て)

<p>期待される地域や社会への具体的な効果・成果</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 学校で歌った、または歌っている童謡の歴史を知り得ることで、地域の子供たちの感受性が豊かになってゆく。 ② 童謡を歌ったことのある大人と、童謡を歌っている子供とのなかで共有意識が生まれていくことは良くありますが、その歌が地元の作詞、作曲家という認識が生まれることで、歴史とも共有できる。 ③ 自分の育っている松代という土地が誇らしい町であるという地元愛を、現代の子供たちに教えることができる。 ④ 共通点を共有することで、地元商店街と大人と子供の一体化が強まる。 ⑤ キャラクターを活かすというという利点で、メディアに露出する機会が増え、松代ブランドを全国的に発信できる。 ⑥ 松代という地名がきっかけで長野を訪れる観光客を呼ぶことも十分に期待でき、長野市単位での観光客増加へとつなげることができる。 ⑦ キャラクターを活かした違う角度のまちづくり案が、地域から生まれてくる。 ⑧ 若い世代の活躍の場が増えて行き、世代を超えたまちづくりができる。
<p>活動を継続するための取り組みや考え方（資金面、人材等）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●市内に在住し、松代を拠点とした、オープンな団体 <ul style="list-style-type: none"> ・私たちの団体は目的があり、きちっとした信念のもとに活動しています。 ●情報共有を積極的に行い、こちらからの歩み寄りが中心 <ul style="list-style-type: none"> ・団体で固まることは無く、同じ気持ちを共有してくれる方々や、理解してくれる方々にはこちらから積極的に歩み寄ります。 ・団体に入りたい人に制限はありません。随時参加を呼びかけ続けています。 ●先輩団体である「ホイサッサ松代」のバックアップがあり、若手メンバーの活躍が不可欠な未来ある新しい団体です ●発案力と行動力の塊です <ul style="list-style-type: none"> ・会議3：行動7の実行派の団体です。 ●長期的展望があり、グッズ開発による収入や、ホームページへの広告スポンサー等の募集、そして地域に愛されるキャラクターを目指した長期継続事業が計画されております。
<p>次年度以降の活動内容の概要</p>	<p>翌年度</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 長野市単位の学校や施設、児童館への出張イベントを積極的に開催し、童謡のルーツ、そして次世代を担う子供たちに地域愛を伝えて行く。 ② ゆるキャラとしての知名度を築き、童謡発信の場を長野県単位へとシフトして行く。 ③ 長野県単位での（ホームページ等からも含む）問い合わせ件数を増やしてゆく。 <p>翌々年度</p> <ol style="list-style-type: none"> ① イベント収益、グッズ収入強化・ホームページ広告スポンサーの積極的な募集等により、事業収益を高め、自立した団体として活動して行く。
<p>事業の最終目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 広域にわたり、松代発祥の童謡を認知してもらえるようになる事。 ② 各種団体と共に手を取り合い、明るい社会を目指した企画を提案し続ける事。 ③ 松代のゆるキャラは「六モンキー」という公私共々認定を受ける事。 ④ 六モンキー関連グッズの発案を各事業所単位で提案し、収益性を生む事。 ⑤ イベント収益を生み出し、着ぐるみの中に入ってくれる人材の人件費をまかなうことが出来るような自立した団体を目指す。